

第 1 回 富士市立中学校部活動地域移行検討懇話会（会議録要旨）

1 開催日時 令和5年6月6日（月）午後3時～午後4時45分

2 開催場所 消防庁舎3F研修室

3 懇話会参加者

富士市スポーツ協会	会 長	山野 政宏
	評 議 員	吉川 武
富士市文化連盟	会 長	辻村 典枝
	常 任 理 事	泉 裕紀
富士市PTA連絡協議会	会 長	服部 英之
	副 会 長	橋本 仁
富士市中学校体育連盟	会 長	原田 和久
富士市校長会	会 長	齊藤 隆裕
	副 会 長	加藤 寧
	中学校部長	田中 文博
富士市教育委員会	教 育 長	森田 嘉幸
	教 育 次 長	江村 輝彦
	教育総務課長	味岡 俊雄
	学校教育課長	齋藤 文徳
	社会教育課長	吉田 和洋
富士市役所市民部	文化スポーツ課長	渡辺 哲成

事務局出席者

富士市教育委員会	教育総務課	小長谷 聡	調整主幹
		吉村 直也	指導主事兼参事補
		遠藤 綱輝	主幹
	学校教育課	齊藤 太一	統括主幹
		吉田 博紀	指導主事
	教育研修センター	太田 桂	指導主事

4 協議概要

(1) 中学校部活動の現状について

- ・部員数の減少は、文化部の吹奏楽部も同じ。指導者は音楽科の教員が担っている。
- ・部活動の種目は、子どもたちのニーズに合わせて多様化しているのか？
⇒中体連での大会がある種目がメインとなっており、多様なニーズには対応できていない。少子化により、むしろ部活動の種類は減っている。

(2) 今後の取組について

- 富士市がゴールとする姿はどのような形か？
⇒究極のゴールは、平日も含めた学校部活動の完全地域クラブ活動化だと思うが、部活動の教育的効果の維持の在り方や経費などの課題が多く、組織体制の構築も複雑なため、かなり時間が掛かる。そこで、まずは休日から試行的に行えないか模索しているので、各団体からヒアリングを行いたい。
- 文化連盟の各種団体も協力する。吹奏楽はシエナウインドオーケストラが担える。
⇒その際には、文化スポーツ課が窓口となる。
- 試行のイメージは？
⇒団体、会場、種目によって条件が異なるので、それも含めてヒアリングを行いたい。試行については次年度以降も継続するということもあり得る。
⇒すぐに試行できる団体であっても、会場や保険など課題が浮かぶ。ヒアリングを急ピッチで進め、希望している団体が始められるように準備したい。
- 地域クラブ活動のクラブ数が少ないと受け皿のすそ野が広がらない。団体としても自分たちの活動種目等が好きな子どもが増えるような取組にしていきたい。
- 顧問として活動できる教員数も限界にきている。
- 部活動指導員制度がゴールの形ではないが、その制度を上手に活用したい。
⇒指導員の条件をクリアしていただくという課題を踏まえつつ、各種団体に指導員の派遣を依頼していく。
- 部活動が強制ではなく任意加入であるのならば、地域クラブ化が進むことにより、一気に部活動を地域移行することも可能なのではないか。
⇒部活動の教育的意義を重視したいことに加え、様々な課題が山積しているので、富士市としては、まずは休日から取り組んでいきたい。
⇒部活動について加入を推奨している状態であり、完全な任意加入化については、検討している段階である。
- 学校や公共施設等の会場はできるだけ減免できるように、行政で頑張ってもらいたい。
- 子ども自身で、好きな活動を選べる形にしてほしい。
- 地域クラブ化しても、活動が進路選択に生かせるようなシステムを構築したい。

※9月上旬に次回を開催予定であることを確認して閉会